

KOSÉ Sustainability Plan

2023年度進捗実績報告

株式会社 コーセー
2024年4月3日



1991年から発信を続けているコーポレートメッセージ「美しい知恵 人へ、地球へ。」を
私たちが持続可能な社会に向けた活動を進めるための「サステナビリティ指針」としても発信していきます。

美しい知恵 人へ、地球へ。

私たちコーセーは、英知と感性、技術と心をもって、
“美しい知恵”で新しい価値を提供してきた、美の創造企業です。

いま、私たちが叶えたいのは、
誰もが自信と活力にあふれ、自分とまわりを認め合える未来。
そして、誰もが安心して暮らせる、すこやかな地球の未来。

その未来を実現するために、
私たちの“美しい知恵”を尽くして貢献することを誓います。

ビューティは、きっと世界を変えられる。
The power of beauty can change the world.

私たちは、美のもつ力を、誰よりも信じています。

KOSÉ Sustainability Plan

サステナビリティ指針

美しい知恵 人へ、地球へ。

人へ

アダプタブルな商品・
サービスの提供

美しく健康的で
幸せな生活のサポート

ジェンダーにとらわれず
活躍できる社会への貢献

取り組みテーマ

地球へ

ビューティを通じた
環境課題への貢献

事業地域の環境保全

事業活動全体での環境負荷低減

基盤となるポリシー

遵守すべき項目

正しきことに従う心

コーポレート・
ガバナンスの徹底

人権尊重

人材育成

透明性・公正性の
ある事業運営







安全・安心な品質

お客さま志向

取り組みテーマ	コミットメント	指標	2023年度実績	目標値	達成年	貢献するSDGs目標
アダプタブルな商品・サービスの提供	肌の色、ジェンダー、社会的・文化的・地理的背景、生活環境、宗教や信条、身体的特徴など、多様なバックボーンを持つ人々が、自信を持って美しく生きる社会に貢献します。	アダプタブル発想での商品・サービス提供率	76.0%*1	100%	2030	
美しく健康的で幸せな生活のサポート	QOL（生活の質）の向上や、次世代への教育啓発活動、フェアトレードなどサプライチェーンを含む労働環境の向上など、誰もが健康的で幸せな生活を送れるよう、社会的課題に積極的に取り組みます。	具体的な取り組み実現	121件 2020年度からの累積値	500件以上*2	2030	
		責任あるパーム油の調達	30.2% 認証原料の調達とブック&クレーム方式によるRSPO認証クレジットの購入	100%	2030	
ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献	社内・社外を問わず、日本はもちろん、世界のジェンダーギャップが解消されるための取り組みと、啓発活動を行います。	ジェンダー平等の啓発	328,833人 2020年度からの累積値	100万人以上*2	2030	

*1 コーセー独自の8つの取り組みテーマ「アダプタビリティ∞」から、各ブランドが毎年注力する項目を決定し、その項目数に対して達成したサービス・商品数をカウントし総合達成率を算出

*2 2024年4月に目標値を上方改定

取り組みテーマ	コミットメント	指標	2023年度実績	目標値	達成年	貢献するSDGs目標
ビューティを通じた環境課題への貢献	ビューティを基軸としながら、環境課題解決への取り組みを促進します。また、その取り組みを世の中に広く伝え、多くの生活者に環境課題への気づきを与え、ビューティを通じて課題解決の輪を広げます。	植サンゴ面積	12,270㎡ 2009年度からの累積値	20,000㎡ 25m公認プール面積約53倍	2030	 
	地域と共存共栄し、地域環境へ影響を与えうる生産拠点を中心に、環境保全に対する取り組みを行います。	商品・サービスを通じた環境課題の啓発	6,870,376人 2020年度からの累積値	1,000万人以上	2030	 
事業地域の環境保全	地域と共存共栄し、地域環境へ影響を与えうる生産拠点を中心に、環境保全に対する取り組みを行います。	地域環境保全活動	14件 2020年度からの累積値	20件以上	2030	  

地球へ

取り組みテーマ	コミットメント	指標	2023年度実績	目標値	達成年	貢献するSDGs目標
地球へ 事業活動 全体での 環境負荷低減	CO ₂ 排出量の削減	Scope 1・2	▲45.1%*1 2018年比・総量	▲55% 2018年比・総量目標	2030	
			14,089.4 t-CO ₂	カーボンニュートラル	2040	
		Scope 3	▲26.5%*1 2018年比・総量	▲30% 2018年比・総量目標	2030	
		Scope1・2・3	732,292.0 t-CO ₂	ネットゼロ*2	2050	
	プラスチック 容器包装資材についての サステナビリティに 配慮した設計	4 Rに適合した 容器包装資材の採用	4 R対応率 30.6%*3 4R:Reduce/Reuse/ Recycle/Renewable	100%	2030	
		再生プラスチック・ バイオマスプラスチック採用率	11.5%*3	50%*4		
		石油由来 パーズンプラスチック使用量	▲10.6%*5	▲50%*4 2018年比・生産原単位		
		レフィル化率	2025年開示予定			
	責任ある資源利用のための廃棄物削減		20件	廃棄物削減および 資源循環の新規 取り組み20件以上	2030	
			リサイクル率100%*6	リサイクルされない 廃棄物ゼロ*6	2025	
責任ある水資源利用のための使用量削減		6.2%*1*6 2018年比・生産原単位	▲12%*6 2018年比・生産原単位	2030		
環境保護を推進し、 社会と共に発展すべく、 持続可能なパーム油調達を 実現します。	責任ある パーム油の調達	30.2% 認証原料の調達とブック& クレーム方式によるRSPO 認証クレジットの購入	100%	2030		

*1 第三者検証後2024年8月更新予定 *2 2023年に策定した目標を今回の改訂に合わせて掲載 *3 対象年に発売した新製品の実績 *4 2024年4月に目標値を新規公開
 *5 対象年に出荷した製品の実績 *6 コーセーグループ生産部門



人へ

アダプタブルな商品・サービスの提供

アダプタビリティ∞（エイト）の具体的な取り組みの推進

Adaptability









「お客さま発想」をより広げるために、多様なお客さまに対応できるよう、個のアイデンティティに着目した価値づくりを推進。

具体的な8つの取り組みテーマを設定し、「**Adaptability∞**」と名づけ、あらゆる価値づくりに展開。

また、新たなお客さまづくりに向けたキーワード、

「**Global**（グローバル）」「**Gender**（ジェンダー）」「**Generation**（ジェネレーション）」の“**3G**”も、

アダプタビリティと連動し、独自の価値を創出。

-  誰も取り残さない
-  多様な文化へ受け込む
-  あらゆる肌と髪に向き合う
-  使いやすい、分かりやすい
-  ジェンダーにとらわれない
-  誰もが心地よい表現を使う
-  個々のポリシーに寄り添う
-  幅広い世代の垣根を超える

Adaptability∞の例

多様な肌色への対応

女性支援

あらゆる人に配慮した表現

使いやすい容器

発展途上国支援

スポーツ支援

子どもも使える化粧品

3G
Global
Gender
Generation



人へ アダプタブルな商品・サービスの提供

アダプタビリティ∞ の具体的な取り組みの推進

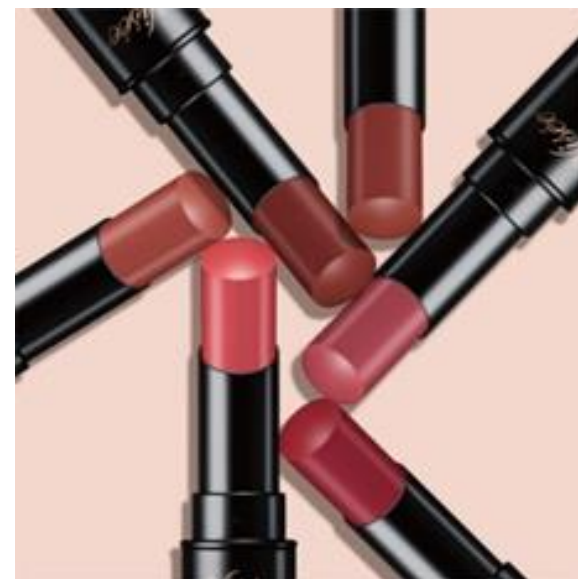
Adaptability ∞
新生児から大人まで使えるアイテム



「雪肌精 クリアウェルネス」のモイストリペア ミルクは、新生児から大人まで年齢を問わず、幅広い層が使えるアイテムです。子どもの成長過程で適切なスキンケアを行うことの有用性が知られ始め、赤ちゃんの頃からの継続的なスキンケアは、肌を健康に保つことに繋がります。

2023年7月18日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8189/>

色持ち持続効果とジェンダーレスなカラー



トレンドをリードしてきたメイクアップブランド「ヴィセ」のネンマクフェイク ルージュは、ジェンダーレスに素の唇になじむ色味を採用し、きれいな色を演出するとともに、マスクの着脱シーンでもマスクへの色移りがしにくく、外した際のツヤ持続、色持ちの良さを兼ね揃えています。

2023年3月10日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/7921/>

2023年3月10日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/7922/>



人へ 美しく健康的で幸せな生活のサポート

具体的な取り組み

「紫外線から、肌を守ろう」をテーマに
全国の中高生を中心とした啓発活動を実施



新たなお客さまづくりの拡大領域「3G」においてジェネレーション（Generation）を掲げ、次世代を担う子どもたちの成長を化粧品による健やかな肌づくりから支援。その一環として「紫外線から、肌を守ろう」をテーマに、スポーツに励む全国の中高生に向けた紫外線対策の啓発活動を実施。

子どもの自発的なスキンケア習慣定着に向けた支援
学童スキンケア教室を開催



学童世代におけるスキンケアの習慣化を目指し、千葉県流山市のNPO法人が運営する学童施設5か所で、スキンケア教室を開催。2022年から開始している本取り組みでは、肌の役割や洗顔・保湿について、幅広い学年を対象に、2年間で計126名の子どもたちに実施。



人へ 美しく健康的で幸せな生活のサポート

多様な生活者のウェルビーイング向上の一環として
障がいのある方に向けたメイクセミナーを開催



10月29日の世界脳卒中デーに、脳卒中発症後、四肢に障がいが残る方のための『私にもできる 頑張りすぎない、いきいきメイクセミナー』をNPOと協働し、名古屋で開催。脳卒中発症後に後遺症が生じた場合でも、メイクを簡単に楽しくできる工夫を凝らしたメイク提案を実施。

具体的な取り組み

挑戦する気持ちの中にある、美しい強さを応援する
コーセーのスポーツ振興支援活動の強化



コーセーでは、スポーツの振興を通じて健康への意識を高めていただくことを目的に、2006年からアスリートの支援を開始。2023年は、新たに男子バレーボールで活躍する高橋藍選手をはじめ、様々なアスリートへの支援を強化。また、スポーツ支援を通じ、地域社会にも活力ある健康的な生活を願い、サイトで情報発信開始。



人へ ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献

ジェンダー平等の啓発

『DECORTÉ』の「PURPLR RIBBON PROJECT」を通じ
誰もが安心して暮らせる社会の啓発と実現に貢献

『INFINITY』の「Share the Bloom」キャンペーンを通じ
バラ園で働く女性の生活環境改善を支援



女性を取りまく社会課題を解消する活動の一環として、独自の取り組み「DECORTÉ PURPLE RIBBON PROJECT」を実施。寄附や啓発活動などの様々な支援を通じ、誰もが安心して暮らせる社会の実現に貢献。

2023年11月1日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8308/>



「美しさは力になる。咲かせよう、可能性の花。」をメッセージに掲げている、『INFINITY』の「Share the Bloom」キャンペーンを通じ、「One of Loveプロジェクト」とともに、2023年度にはエチオピアのバラ園で働く2,500名の女性に向けて、生理用品を寄付。生活環境の改善を支援。

『INFINITY』 Share the Bloom
<https://www.kose.co.jp/infinity/rfc/>



人へ ジェンダーにとらわれず活躍できる社会への貢献

ジェンダー平等の啓発

子育て世代の悩みや解決策を共有しあえる社員コミュニティ
「パパママラウンジ」の開催

男性の育休取得の促進と共働き・共育て実現に向けて
「コーセイイクパパサポート制度」での独自性ある取り組み推進



出産・育児と仕事の両立サポートに向けた社内施策を実行。育児休業からの復職時に、社内キャリアコンサルタントに今後のキャリアプランを相談することができる窓口の設置や、子育て世帯やこれから子育てを希望する社員がお互いに悩みや解決策を共有しあえるコミュニティ活動「コーセイ パパママラウンジ」を推進。

性別に関わらず活躍できる社会の実現に向けて、2020年から導入している男性育児休業の取得を促すための「コーセイイクパパサポート制度」では、当事者と上司や職場の意識向上を促すために、個別に制度利用についてのアドバイス等サポートを実施し、育児休業を取得する男性社員には支援金を給付するなど、コーセイ独自の取り組みを推進。



地球へ 事業活動全体での環境負荷低減

沖縄のサンゴを守る
雪肌精 SAVE the BLUE ～Ocean Project～



15年目を迎えた雪肌精「SAVE the BLUE」プロジェクトは、期間中お客さまにご購入いただいた『雪肌精』ブランド対象商品の売上の一部を、沖縄のサンゴ育成費用として寄附。2023年度は、673本のサンゴを沖縄の海に植え付けることで、継続した環境保全に貢献した。

2023年5月9日付リリース

<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8053/>

雪肌精「SAVE the BLUE ～Ocean Project～」Webサイト

https://sekkisei.jp/site/p/savetheblue_oceanproject.aspx

商品・サービスを通じた環境課題の啓発

キッズニア東京で子どもが美を通じた環境保全活動に触れる
ワークショップを開催



子どもに「化粧品を通して、美しい海を守ろう！」というテーマのもとで環境保全活動に取り組む、雪肌精「SAVE the BLUE～Ocean Project～」の活動を知ってもらいながら、海をイメージしたオリジナルキーホルダーを作る体験型イベント「Exciting Week with KOSÉ」を開催。スキンケアの大切さも紹介。

2023年8月22日付リリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000471.000041232.html>



地球へ 事業地域の環境保全

コーセートラベルリテール「雪肌精 SAVE the BLUE」 海南島でマングローブの植林・保護活動の支援を開始

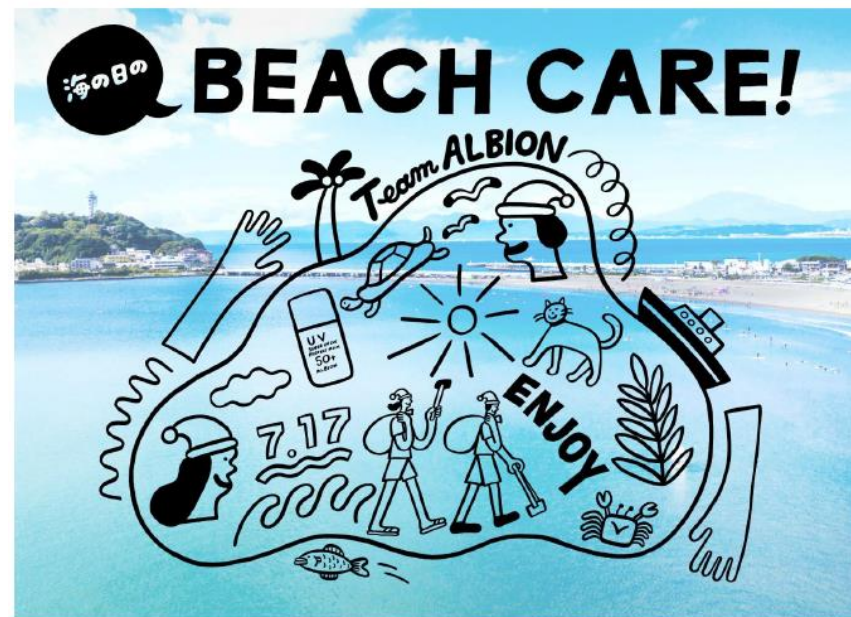


コーセートラベルリテール(株)では、「雪肌精 SAVE the BLUE」の取り組みの一つとして、中国免税の売り上げの一部を現地のBlueRibbon海洋保護協会（藍丝带海洋保护协会）に寄付し、海南島におけるマングローブの植林・保護の支援を2022年から開始。

2023年度 植樹面積：約1,666㎡

地域環境保全活動の実施

アルビオンの旗艦店「アルビオン フィロソフィ」が ビーチクリーンイベント「BLUE SANTA」に協賛・参加



アルビオンの旗艦店「アルビオン フィロソフィ」は、海の日に行われるビーチクリーンイベント「BLUESANTA※」に「Team ALBION」として参加・協賛。店頭では給水スポットを設置し、ペットボトル削減活動も展開。

※海や社会課題の解決に取り組む「日本財団」と湘南・江の島で18年間ビーチクリーン活動を続ける「NPO法人 海さくら」が中心となり、海の日に開催されるイベント。

2023年6月1日付リリース

<http://www01.rashisa.albion.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/20230601.pdf>



地球へ 事業地域の環境保全

「BIOLISS PEACEFUL GREEN」プロジェクト
山梨県笛吹市「ビオリスの森」植樹活動



売上の一部を認定NPO法人環境リレーションズ研究所が運営している、森林再生プロジェクト「Present Tree（プレゼントツリー）」に寄附。山梨県笛吹市芦川町にて、社員37人が参加し、中央森林組合の指導のもと植樹活動を実施。広葉樹（ブナ、ミズナラ、ヤマザクラ、キハダ、モミジ）合計400本の苗木を植樹。2022年からの植樹面積は、2,600㎡となった。

BIOLISS PEACEFUL GREEN プロジェクト
<https://www.bioliss.jp/peacefulgreen/>

地域環境保全活動の実施

「あきたSDGsアワード2022」を受賞
ブドウを活用した原料開発で「白神山地ワイン」復活



美容エキス抽出後のブドウの残渣（果汁）を活用し、生産が途絶えていた「白神山地ワイン」の復活に貢献し、その功績が認められ「あきたSDGsアワード2022」を受賞。



2023年2月1日付リリース
<http://www01.rashisa.albion.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/02/2023.02.01.pdf>



地球へ 事業地域の環境保全

「雪肌精 SAVE the BLUE～Snow Project～」
Hakuba Valley使用電力の再生可能エネルギー化へ貢献

地域環境保全活動の実施

「全国水環境マップ実行委員会」が主催する
全国水環境調査に参画・協力



2022年から、冬のキャンペーンを「雪肌精 SAVE the BLUE～Snow Project～」と題して、期間中の『雪肌精』ブランド対象商品の売上の一部を、長野県北部の北アルプス山麓に広がる山岳リゾートである Hakuba Valleyで使用される電力の再生可能エネルギーへの切り替えに活かし、CO2削減に貢献。

2023年10月30日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8298/>

雪肌精「SAVE the BLUE ～Snow Project～」Webサイト
https://sekkisei.jp/site/p/savetheblue_snowproject.aspx



2023年より、「全国水環境マップ実行委員会」が主催する全国的な水環境の調査に参画・協力することで、近隣の水環境・資源のおかれている状況の調査し、地域の環境保全へつなげていく取り組みを実施。

【調査実施場所】 狭山工場：入間川・不老川 群馬工場：広瀬川・粕川
南アルプス工場：御勅使川

コーセー サステナビリティページ | 生産における取り組み
<https://corp.kose.co.jp/ja/sustainability/environment/production/>



地球へ 事業活動全体での環境負荷低減

CO2 排出量の削減 | Scope1・2 , Scope3

コーセイイングストリーズ、狭山工場で再エネ導入
群馬工場で省エネの取り組み強化

「薬用雪肌精 ブライトニング エッセンス ローション」
カーボンフットプリント算定でCO2排出量を見える化



コーセイイングストリーズ狭山工場では、2023年2月から調達する電力の全てを再生可能エネルギーに切り替え、CO2削減に大きく貢献。
群馬工場では、大規模空調設備(AHU)において、生産環境維持に重要な温度コントロールと空気循環を最適にしながら、運転コントロールを行うことで省エネルギー化を推進。

コーセイ サステナビリティページ | 生産における取り組み
<https://corp.kose.co.jp/ja/sustainability/environment/production/>



2022年から開始した、カーボンフットプリント算定を通じた商品のCO2排出量見える化の取り組みにおいて、新たに「薬用雪肌精 ブライトニング エッセンス ローション」の算定を実施。プラスチック使用量の削減とバイオマスプラスチックの採用により、レギュラーサイズには既存品と比べ約9%、ビッグサイズでは約10%のCO2排出量削減に貢献。

2023年12月7日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8363/>

地球へ 事業活動全体での環境負荷低減

『ADDICTION』コンパクトケース
プラスチック部分の94%に、リサイクル素材を採用



2023年6月12日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8096/>

『ALBION STUDIO』ベースメイクシリーズ全品に
サステナブルなパッケージを採用



容器にリサイクル素材やバイオマス素材を採用

2023年8月18日付リリース
<http://www01.rashisa.albion.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/20230818.pdf>

プラスチック容器包装資材についてのサステナビリティに配慮した設計

コスメポート『コエンリッチ』ハンドクリームのキャップに
メカニカルリサイクル素材のプラスチックを採用



2023年6月22日付リリース
https://www.kosecosmeport.co.jp/corporate/source/230622_release.pdf

アルビオン、独自のポンプディスペンサーの開発に成功
複雑な構造部分にもバイオマスプラスチックを採用



金属製バネ



樹脂製バネ

2023年9月28日付リリース
<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8247/>

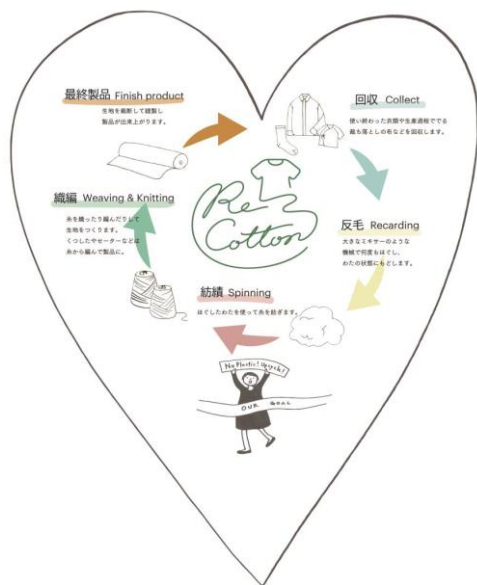
画像提供：株式会社吉野工業所

地球へ 事業活動全体での環境負荷低減

責任ある資源利用のための廃棄物削減 | 削減につながる新規取り組み

店頭スタッフの制服をアップサイクル
ノベルティやオリジナル雑貨として展開

店頭容器回収システム
「HAPPY RECYCLE PROJECT」でミニフォトフレーム制作



株式会社アバンティとの共同プロジェクトで、役目を終えた店頭スタッフの制服を新たな魅力をもった布製品へリサイクルし、ノベルティやオリジナル雑貨として展開。全国の「アルビオン ドレッサー」の店頭スタッフが着用した制服（2017年秋冬から2019年秋冬までの3シーズン分、約10,000着）を対象にアップサイクル。

2023年10月27日付リリース
<http://www01.rashisa.albion.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/231027.pdf>



回収ボックス
(イメージ)



ミニフォトフレーム

2021年11月にアルビオンの旗艦店「アルビオン フィロソフィ」から始まった容器回収の活動を通じ、これまでにお客さまから回収した容器のキャップから、オリジナルのミニフォトフレームを制作。2023年5月より、回収活動にご協力いただいたお客さまへプレゼントを開始。本容器回収は、全国57のアルビオン店舗にて実施拡大。

2023年5月11日付リリース
<http://www01.rashisa.albion.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/20230511-.pdf>

地球へ 事業活動全体での環境負荷低減

責任ある資源利用のための廃棄物削減 | 削減につながる新規取り組み

本多プラス×モーングータ×コーセー 化粧品とプラスチックをアップサイクルしたヘアアクセサリー制作

コーセー・花王提供のメイクアップ化粧品から 新たにアップサイクルボールペン制作



プラスチック成形メーカーの本多プラス株式会社が展開するオリジナルブランド「ame : アメ」と、それぞれの事業活動で発生する不要となった“化粧品バルク”と“プラスチック”を活用。キザギア東京『ビューティストアジオ』で使用を開始し、子どもたちに資源循環の重要性を紹介。

2023年9月11日付リリース

<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8226/>



研究所での品質追求・品質管理の過程で最終的に商品にならなかったメイクアップ化粧品を提供。コーセーと花王が提供したメイクアップ化粧品が、モーングータ社により水性ボールペン「SminkArtペン（スミンクアートペン）」へアップサイクル。

2023年10月24日付リリース

<https://corp.kose.co.jp/ja/news/8289/>

地球へ 事業活動全体での環境負荷低減

責任あるパーム油の調達※1

※1 「人へ」の「美しく健康的で幸せな生活のサポート」と共通の目標

サステナブルなパーム油の取り組み
マレーシアの小規模農家と課題解決に向けた対話実施



2023年11月下旬にインドネシアで開催されたRSPO総会への出席後にWildAsiaのツアーへ参加。マレーシアの小規模農家と工場を視察し、様々なステークホルダーと、現場における現状と課題・ニーズについて対話。



パームの実(FFB)の採取作業の見学と、作業の安全性の徹底についての説明



美しい知恵 人へ、地球へ。

株式会社コーセー
2024年4月発行